

令和6年度中部四県産業廃棄物不法処理防止 連絡協議会合同会議報告

令和6年5月9日（木）午後2時より、静岡県静岡市葵区のグランディエール プケトーカイにおいて、令和6年度中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議が開催され、中部四県（岐阜、静岡、愛知、三重）の協会の会長等役員、環境省中部地方環境事務所、中部管区管内の海上保安本部関係者、中部四県の各県・政令市等の担当者49名が出席し、産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について意見交換を行いました。

会議では環境省中部地方環境事務所を始め海上保安庁並びに各県・政令市等から産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について説明があり、不法投棄件数、投棄量の推移、不法処理事案の報告や監視指導体制の強化として委託業者による休日・夜間の監視、カメラによる監視、ヘリコプターによるスカイパトロールやドローンによる監視、中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市及び警察の三県等合同による路上検査の実施等の報告がありました。

意見交換では、静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課から令和3年7月3日に梅雨前線に伴い発生した熱海市伊豆山土石流災害について、土

石流の起点となった平成25年当時までの盛土造成（がれき類の不適正処理）に至るまでの前土地の所有者（A社）と現土地の所有者（C者）の事案概要について説明があり、A社及びC者へのがれき類の撤去指導と並行して関係者への各種調査を実施したが客観的事実の認定資料の不足からA社を排出事業者と断定できなかったこと。また、がれき類の撤去に向けた静岡県の対応としてC者に不適正処理行為の是正を根拠に撤去指導を継続中に令和3年7月の土石流災害が発生した。発災後のC者への指導により令和6年1月15日からがれき類の撤去作業が開始され、7月下旬頃までに整地事業が終了するとの説明に対して、活発な意見交換が行われました。



■出席者名簿（順不同）

環境省中部地方環境事務所資源循環課 主席廃棄物対策等調査官 水谷 宏忠	四日市海上保安部警備救難課 警備救難係長 大賀 海
第四管区海上保安本部警備救難部刑事課 捜査管理官 浦 拓哉	三重県環境生活部環境共生局 廃棄物監視・指導課 主査 藤崎 裕道
第二捜査係 山本 陵生	（一社）三重県産業廃棄物協会 係長 加納 久義
岐阜県環境生活部廃棄物対策課 課長補佐兼監視指導係長 大森健太郎	会長 堀川 勉良
技術主査 古田 博勅	副会長 筒井 照雄
岐阜市環境部産業廃棄物指導課 副主査 稲垣 智彦	専務理事 和田 一人
主任 長屋 貴士	理事・総務委員長 光友 裕昭
（一社）岐阜県産業環境保全協会 会長 澤田 裕二	事務局長 平見 元通
専務理事 大坪 敬明	第三管区海上保安本部警備救難部刑事課 第二捜査係長 西川 朋美
名古屋海上保安部警備救難課 専門官 藤森 岳彦	清水海上保安部警備救難課 警備対策調査官 酒井 朋則
愛知県環境局資源循環推進課 産業廃棄物適正処理推進室 室長 夏目 享之	鑑識官 阿部 和真
主査 西森 友昭	静岡県くらし・環境部環境局 廃棄物リサイクル課 課長 西尾 清仁
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長補佐（産業廃棄物指導担当） 長谷川 宏樹	班長 久保山 成基
主査 松井 宏文	主査 佐野 悠祐
岡崎市環境部廃棄物対策課 事務員 橋本 宙	和田 裕久
一宮市環境部廃棄物対策課 課長補佐 北原 篤史	主査 清水 萌
豊田市環境部廃棄物対策課 担当長 石田 尚志	副技監 落合 輝
（一社）愛知県建設業協会 上席 土田 浩通	主任 中津川 広樹
（一社）愛知県産業廃棄物資源循環協会 会長 永井 良一	会長 岩間 雄一
副会長 中野 兼司	副会長 新井 康久
専務理事 堀部 隆司	副会長 海野 ひろみ
専務理事待遇 小野 俊之	理事・適正処理委員長 白井 浩行
事務局長 小坂 元信	専務理事 松浦 敏明
	事務局長補佐 瀬崎 秀五